

新駅舎のおもてなしポイント



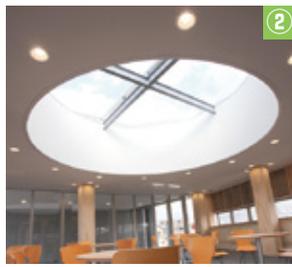
① 2階東側にある木の引き出しを開けてみてください。子どもが電車をみる

ための踏み台がでています。この踏み台は、椅子にも早変わり。靴を脱いで乗ってくださいね。電車の発着風景が見える2階のスペースは子どもたちの人気スポットになるでしょう。



③ 南側に安全に見られるスペースがあります。電車の写真を撮る人や、電

車を見る保育園の子どもたちが集う場所です。この後ろに広がるロータリーには、たくさんのベンチが設置されています。ゆっくり過ごしててくださいね。



② 階段を登っていく途中、天井を見上げると空が見えます。天井に大きな丸いガラスがは

められており、晴れた日には太陽の自然な明かりが空間を満たしてくれます。太陽の暖かな光の中、思い思いの時間をお過ごしください。



④ 図書館の本が駅でも返せるようになります。交流ひろばにある大きな白いポストに回

書館で借りた本を入れると定期便で回収され、図書館に運ばれる仕組みになっています。本以外に視聴覚資料を入れても大丈夫ですよ。

駅長コメント

市民の皆さんに愛される駅に育てていきたいです。皆さんのお越しをお待ちしております。



1月

今月の渥美半島の花～リシアンサス～

リシアンサス(切花/出荷時期:10月～7月)

【花言葉】…優美、希望、よい語らい

北米原産のリンドウ科の一年草です。別名トルコギキョウとも言われますが、トルコが原産ではなく、花色や花の形から連想されるイメージにより、そう呼ばれるようになりました。日本では特に品種改良が進み、当初は青紫色だけだった花色も現在は白、黄色、ピンク、ブルーとバラエティー豊富です。また、花形も一重咲き、八重咲き、フリンジ、バラ咲き、スプレー咲きなどさまざまな種類がありひと目見ただけでは同じ花とは思えないほど変化に富んでいます。田原市では年間約220万本生産されており、県内1位の生産量を誇っています。



●お詫びと訂正

広報たはら11月15日号の「今月の渥美半島の花」に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

正:寒さに強い原種から生まれたもの

誤:寒さに原種から生まれたもの